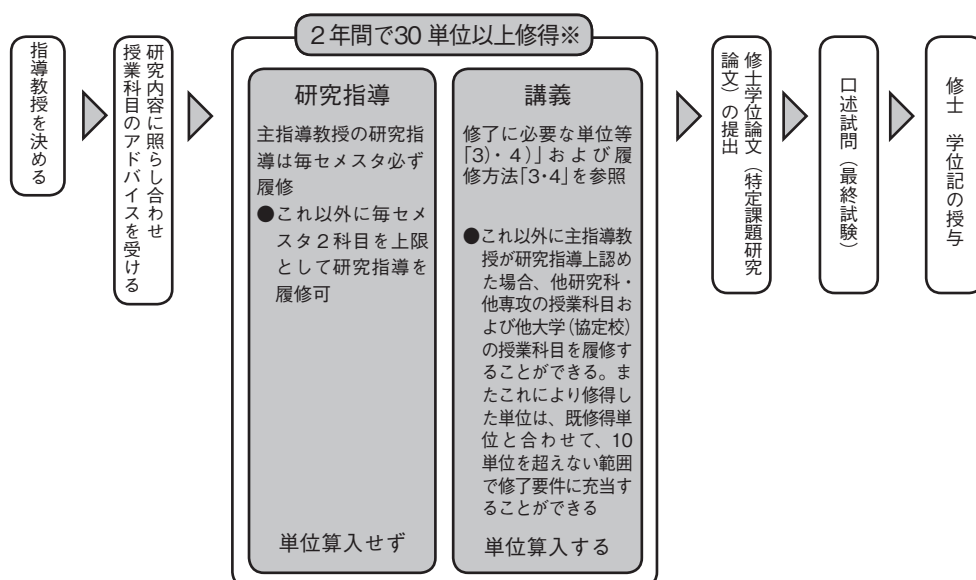


福祉社会システム専攻 (2020年度入学生まで)

修士課程

履修の流れ



特定課題研究論文を修士学位論文に代える場合は、2年間で36単位以上修得

※本専攻では、授業内容の理解や自身の研究を一層深めるために、授業及び研究指導の一環として、海外における調査・研究や学会への参加・発表を奨励しています。

福祉社会システム専攻

修士課程（2020年度入学生まで）

区分	授業科目	単位	科目ナンバリング	学期	講義・演習の別	担当教員	備考
基礎科目	研究基礎論	2	SEM601	春	講義	小須 文村 尾田 須文 神谷 小酒 文	必修科目 オムニバス方式
	実践知と理論	2	SEM602	秋	講義	澤田 原 尾田 須文 神谷 小酒 文	必修科目 オムニバス方式
	現代社会論	2	SOC601	春	講義	神谷 悠一	
	社会調査論	2	SOC602	春	講義	小山 弘美	
	研究方法論A(量的データの分析)	2	SOC603	秋	講義	酒井 計史	
	研究方法論B(質的データの分析)	2	SOC604	秋	講義	文 貞 實	
専門科目 (社会学系)	社会学的認識論A	2	SOC605		講義		本年度休講
	社会学的認識論B	2	SOC606		講義		本年度休講
	グローバリゼーションと現代社会A	2	CUA601		講義		本年度休講
	グローバリゼーションと現代社会B	2	CUA602		講義		本年度休講
	グローバリゼーションとボランティア・非営利組織論	2	SOC607		講義		本年度休講
	地域と現代社会A	2	SOC608	春	講義	文 貞 實	福祉社会システム研究指導ⅢA /Bと共通
	地域と現代社会B	2	SOC609	秋	講義		
	教育システムと現代社会A	2	SOE601	春	講義	小 澤 浩 明	福祉社会システム研究指導ⅣA /Bと共通
	教育システムと現代社会B	2	SOE602	秋	講義		
	雇用・労働システムと現代社会A	2	SOC610	春	講義	村 尾 祐美子	福祉社会システム研究指導ⅤA /Bと共通
	雇用・労働システムと現代社会B	2	SOC611	秋	講義		
	キャリアデザイン論A	2	SOC616	春	講義	榊 原 圭 子	福祉社会システム研究指導ⅩA /Bと共通
	キャリアデザイン論B	2	SOC617	秋	講義		
	ジェンダーと現代社会	2	SOC613	春	講義	皆 川 満寿美	
	子どもと現代社会	2	SOC614	秋	講義	立 柳 聡	
貧困と現代社会	2	SOC615	秋	講義	北 川 由紀彦		
専門科目 (福祉学系)	高齢者ケアシステム論A	2	SWS601	春	講義	須 田 木綿子	福祉社会システム研究指導ⅦA /Bと共通
	高齢者ケアシステム論B	2	SWS602	秋	講義		
	ソーシャルワークと権利擁護論A	2	SWS603	春	講義	高 山 直 樹	福祉社会システム研究指導ⅧA /Bと共通
	ソーシャルワークと権利擁護論B	2	SWS604	秋	講義		
	多文化共生システム論A	2	SWS605	春	講義	荻 野 剛 史	福祉社会システム研究指導ⅨA /Bと共通
	多文化共生システム論B	2	SWS606	秋	講義		
	グローバリゼーションと社会福祉	2	SWS607	秋	講義	新 名 正 弥	
	ケアマネジメントと地域包括ケアシステム論	2	SWS608		講義		本年度休講
	スーパービジョン・実践評価論	2	SWS609		演習		
	コミュニティケアシステム論	2	SWS610	春	講義	和 秀 俊	
	ソーシャルワーク論	2	SWS611	秋	演習	久 松 信 夫	
	障害者ソーシャルワーク論	2	SWS612	秋	講義	大 村 美 保	
	医療ソーシャルワーク論	2	SWS613	秋	講義	若 林 浩 司	
	精神保健福祉論	2	SWS614	春	講義	山 口 創 生	
	保健福祉サービスマネジメント論	2	SWS615	秋	講義	廣 瀬 圭 子	隔年開講
医学と福祉・社会的課題A	2	RSW601	春	講義	高 橋 龍太郎	集中講義	
医学と福祉・社会的課題B	2	RSW602	秋	講義			

福祉社会システム

区分	授業科目	単位	科目 ナンバリング	学期	講義・ 演習の 別	担当教員	備考
研究 指導	福祉社会システム研究指導ⅠA		REG601				本年度休講
	福祉社会システム研究指導ⅠB		REG602				
	福祉社会システム研究指導ⅡA		REG603				本年度休講
	福祉社会システム研究指導ⅡB		REG604				
	福祉社会システム研究指導ⅢA		REG605	春秋		文 貞 實	
	福祉社会システム研究指導ⅢB		REG606	春秋			
	福祉社会システム研究指導ⅣA		REG607	春秋		小 澤 浩 明	
	福祉社会システム研究指導ⅣB		REG608	春秋			
	福祉社会システム研究指導ⅤA		REG609	春秋		村 尾 祐美子	
	福祉社会システム研究指導ⅤB		REG610	春秋			
	福祉社会システム研究指導ⅥA		REG611				本年度休講
	福祉社会システム研究指導ⅥB		REG612				
	福祉社会システム研究指導ⅦA		REG613	春秋		須 田 木綿子	
	福祉社会システム研究指導ⅦB		REG614	春秋			
	福祉社会システム研究指導ⅧA		REG615	春秋		高 山 直 樹	
	福祉社会システム研究指導ⅧB		REG616	春秋			
	福祉社会システム研究指導ⅨA		REG617	春秋		萩 野 剛 史	
	福祉社会システム研究指導ⅨB		REG618	春秋			
	福祉社会システム研究指導ⅩA		REG619	春秋		榊 原 圭 子	
	福祉社会システム研究指導ⅩB		REG620	春秋			

修了に必要な単位等

- 1) 修了要件となる科目で30単位以上修得すること。ただし、修士論文に代えて学則第12条の特定の課題についての研究成果により審査を受けようとする者は、修了要件となる科目で36単位以上修得すること。
- 2) 主指導教授の「研究指導」を、毎セメスタ必ず履修すること。
- 3) 基礎科目
 - ①全体で4科目8単位以上修得すること。
 - ②必修科目2科目4単位を修得すること。
 - ③選択科目から2科目4単位以上修得すること。
- 4) 専門科目
 - ①全体で6科目12単位以上修得すること。
 - ②社会学系から3科目6単位を修得すること。
 - ③福祉学系から3科目6単位を修得すること。

履修方法

1. 履修する授業科目は、指導教授の指示を受けて決定すること。
2. 指導教授は、主指導教授1名・副指導教授1名の計2名とする。ただし、主指導教授の判断により、副指導教授が2名となる場合がある。「研究指導」は、セメスタ毎に3科目（主指導教授1名・副指導教授2名）を上限として、履修・修得することができる。
3. 主指導教授が担当する「演習」または「講義」は、在学中各2回（8単位）まで履修・単位修得することができ、かつ修得した単位は修了単位として認められる。
3回目以降（長期履修学生および原級した場合等）の履修・聴講は、成績および単位は認定されるが、修了要件としては扱わない。なお、該当する科目は大学院要覧において定める。
4. 履修方法3以外の「演習」または「講義」は、同一科目を在学中何回でも履修・単位修得することができるが、この場合、修了単位として認められるのは、最初に修得した成績および単位のみとする。
5. 本表に掲げたものの他、指導教授が教育上必要と認めるときは、学則第8条に基づき、本大学院の他研究科・専攻の授業科目および他大学（協定校）の授業科目を履修することができる（同一科目は1回目のみ修了要件として扱い、2回目以降の履修によって修得した成績及び単位は認定されるが、修了要件としては扱わない）。また、上記により履修し修得した単位は、学則第10条の2に基づく、本大学院に入学する前に修得し、本大学院における授業科目の履修により修得したものとみなす単位（既修得単位）と合わせて、10単位を超えない範囲で修了要件に充当することができる。